



家庭数 令和6年1月10日(水)

学校だより 第20号

校長 山下 恵子

高槻だより



高槻小学校学校教育目標
「心豊かで 自ら学ぶ たくましい 子どもの育成」

目指す子どもの姿

た かい こころざしをもち か しこく
つ よく き よらかな 子ども

子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

あけまして おめでとうございませす。

本年も、どうぞよろしくお願ひします。

9日、3学期始業式を行いました。子どもたちが、元気にそろって3学期を迎えられたことを、うれしく思っております。充実した冬休みを、過ごされたでしょうか。

さて、皆さんもご存じの通り、新年早々、能登半島地震や日航機衝突事故、北九州市では鳥町食道街の大火事など、悲しい災害や事故が起きました。石川県をはじめ、地震で避難された方々の避難生活は、今も続いています。また、余震や大雪の中で、行方不明者の捜索や、倒れた家屋の片付けなど、懸命に働いている方も多くいます。

このような時、今から13年前の東日本大震災で、新聞にコラムで出されていた、映画監督の山田洋次さんの言葉を思い出します。それは、

「こんな時、自分たちに何ができるだろうか。という声をよく聞きます。それも大事だけれど、被災した人たちの悲しみや苦しみを、私たちはどれくらい想像できるか、そのことがとても大事だと思うのです。現地の人たちの心の中を、どれくらいイメージできるのか、自分に問いかけ、悩む。そこから、何かを学び取れるのではないのでしょうか」

私は、子どもたちに、同じことや経験ができなくても、その時の状況や気持ちが、しっかりと想像できる人になってほしいと、始業式で話をしました。そして、どんな時でも、「想像力」を懸命に働かせて、喜びや楽しみ、不安や悲しみをどれくらい自分の中でイメージできるか、そして相手と共有できるか。「想像する」ことで、人とつながってほしいと思います。

3学期はとても短く、学校に来る日は50日ぐらいしかありません。この短い学期を、一日一日大切に過ごしてほしいと思います。

3学期も、保護者や地域の皆様にご理解ご協力を得ながら、頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。



お正月のアレンジフラワー作成。

冬休みの年末29日に、学童クラブで、お正月のアレンジフラワーを、6年生や学童の先生方が行いました。松や南天など、お正月用のお花に加えて、カーネーションや菊など、色とりどりのお花を、竹筒に入れてアレンジフラワーの作成を行っていました。

それぞれに、趣があり、学童クラブが一気に華やいでいました。

6年生の子どもたちのアレンジも、大変上手でした。

